

3 こん虫の育ち方 (指導時期 5～6月・10時間)

★：その学年で特に育成を目指すべき問題解決の力を意識した内容です。

◆：その時間で学習する活動内容です。

単元の目標

昆虫の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の昆虫を比較しながら昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

●昆虫の育ち方には一定の順序があること。また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること

●昆虫の育ち方について追究する中で、差異点や共通点を基に、昆虫の成長のきまりや体のつくりについての問題を見いだし、表現すること。

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 チョウの育ち方	1	○チョウのたまごや青虫、成虫の姿を比べて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	【思・判・表】 昆虫の成長について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	2 3 4 5	○チョウの育ち方を、姿を比べながら調べる。 ◆ かんさつ1	【知・技】 昆虫の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【態度】 身の回りの生物についての事物・事象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
2 こん虫の体のつくり	6	○チョウの体と他の虫の体を比べて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう	【思・判・表】 昆虫の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

		<p>【知・技】 昆虫の体のつくりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記述分析〉</p>	
	7	<p>○いろいろな虫の体のつくりを、チョウの体のつくりと比べながら調べる。 ◆ かんさつ2</p> <p>【思・判・表】 昆虫の体のつくりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p> <p>【知・技】 成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>	
3 こん虫の育ち方	8	<p>○チョウの育ち方と他の昆虫の育ち方を比べて、気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○トンボやバッタの育ち方を、チョウの育ち方と比べながら調べる。 ◆ かんさつ3</p>	<p>【思・判・表】 昆虫の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
	9		<p>【知・技】 昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉</p>
	10	<p>◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。</p> <p>【態度】 昆虫の成長や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>	

【準備物】

予想カード、クリップ付きボード、色鉛筆、卵（モンシロチョウやアゲハなど）、はさみ、モンシロチョウの餌（キャベツなど）、アゲハの餌（ミカンの葉など）、プラスチック容器（イチゴのパックなど）、目玉クリップ、ティッシュペーパー、アルミニウム箔、飼育ケース、空きびん、虫眼鏡、ものさし、観察カード、動物図鑑（昆虫）、虫とり網、タブレット、幼虫（トンボやバッタなど）、水槽、水草、土、石、木の棒、霧吹き、やごの餌（生きたあかむしやイトミミズなど）、バッタの餌（イネ科の植物）、[虫の標本]